



東方鈴奈庵 飛艷魔秘録

TouhouProject Fanbook

2014/12/29

presented by [koutetsu]/hagane satou

for adult only

R-18
for adult only



どうも、佐藤はがねです。
今回は、東方鈴奈庵のカラー本です。
前回の飛縁魔本の続編を描こうと
ネームを切ったものの時間的に厳しかったので
急遽、続編のダイジェストを
カラーイラスト化した本を作る事にしました。
お楽しみ頂けたら幸いです。
コマで割ってセリフの入ったストーリー漫画は
次回の本で出せたらと思っています。

阿求「あっ！小鈴、そこ、そんな風に弄られたら…」
小鈴「ダメよ阿求。じっとして。」

へく素女経って凄いわね。

私たち女の身体秘密が一杯書いてあるわ。

ホラ、ね？ここ…ここ…ここをこうするとどう？」

阿求「いや！も、もう本、持ってられない…！」

小鈴「閉じないで阿求。」

ちゃんと開くの。本も、足もね。

よく見えないわ。」



少年「いつもノート貸してくれて、

ありがとう。

あの、また…僕、

またお姉ちゃんと…」

小鈴「仕方ないわね。

私たちの研究の実験代になって

もらおうかしら。」

ん

ふあ
はん

阿求「小鈴…この子は？」

子鈴「寺子屋事件の化け狐の子の二人ってのは秘密にしないと…」

あゝ、常連客の二人だったんだけどね…。

まあ…いろいろあって…」





あ♡

あ♡
あ♡

あ♡
あ♡
あ♡

あ♡
あ♡
あ♡

あは♡
あ♡
あ♡
あ♡

あ♡
あ♡
あ♡

あ♡

あ♡
あ♡



霊夢「魔理沙?!」

どうしたの魔理沙?!

やめて!

(きつとこれは鈴奈庵に異変を
起こしてる妖怪が私に
幻影を見せているんだわ:
魔理沙が3人も
居ること自体おかしいもの。
...でも...)」

小鈴「霊夢さんには、この狐の子達が
魔理沙さんに見えてるのね。
自分が幻影を見る事を自覚してる
みたいなのに...どうして
抵抗しないのかしら。」



魔理沙「うあっあっあっあっ！

霊夢「ああっ！
いいの？私たち
こんなっ…こんなことっ
してっ…ああっ！
やばっ…気持ちっ気持ち
いい！」

小鈴「魔理沙さんも、幻影の中の
霊夢さんに夢中ね。
狐の子達も、凄く興奮しているわ。」

少年「はあっ。はあっ。このお姉ちゃんの
中…凄くっ、あつたかくて
柔らかく吸い付いて、気持ちいい。」

うっ♡
あっ♡
あっ♡

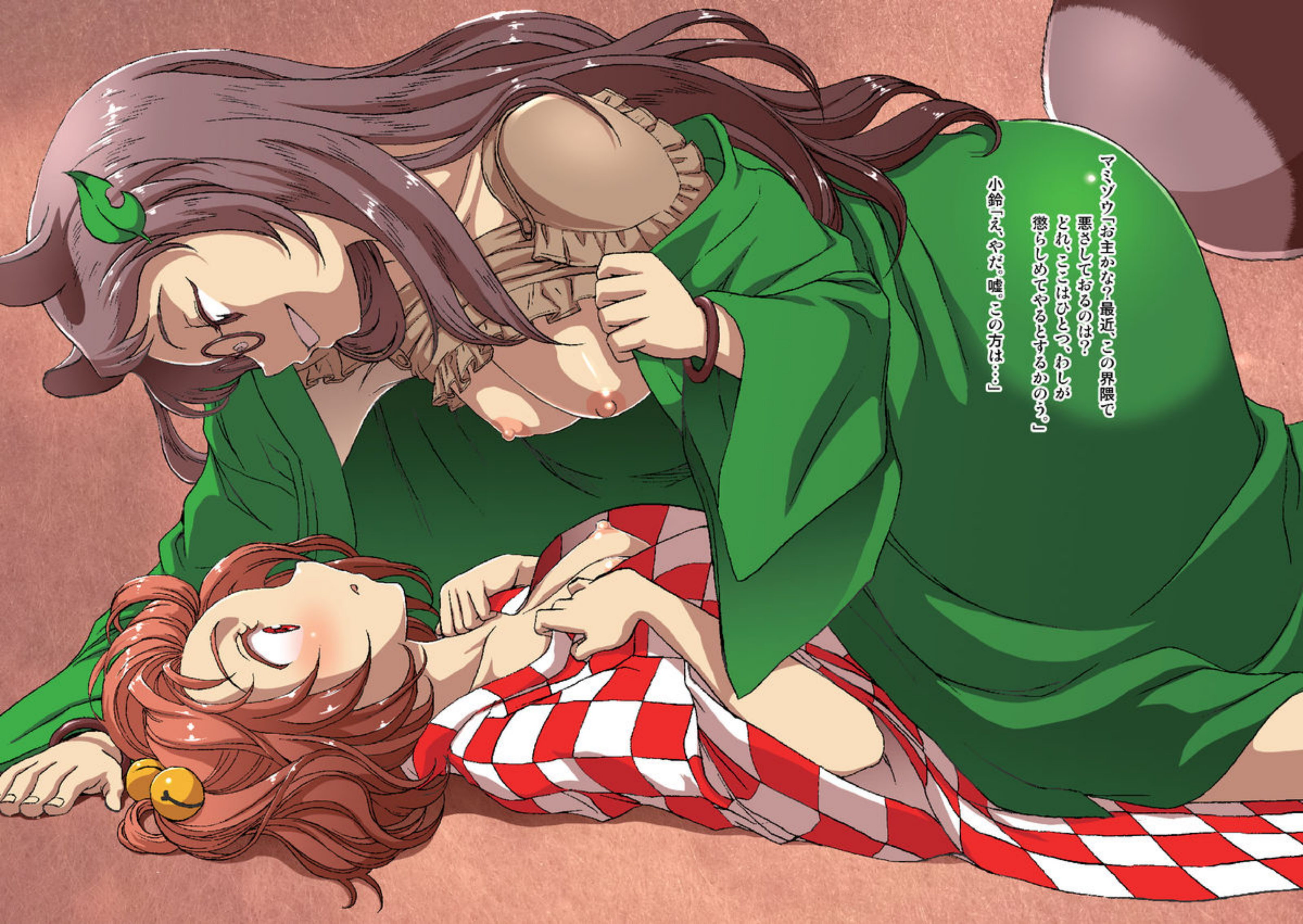
あはっ♡
ああっ♡
あはっ♡

れっ♡
れっ♡
れっ♡

あはっ♡
あはっ♡
あはっ♡

ずっ♡
ずっ♡
ずっ♡

ぱっ♡
ぱっ♡
ぱっ♡



マミツウ「お主かな？最近、この界限で
悪さしておるのは？
どれ、ここはひとつ、わしが
懲らしめてやるとするかのう。」

小鈴「え、やだ。嘘。この方は……」

あとがき

ここまで見て下さり、ありがとうございました。
というわけで次の作品のプレビューを
カラーイラストで描いてみるという本でした。
多少、内容が変わるかもしれないですが、
良かったら次回もよろしくお願いします。

作中、チラッとセリフに出てきた「素女経」は
中国に伝わる房中書です。
二千年前、この本を仙人から渡されて読んだ「女几」という
女性が沢山の若い男とHして精気を奪い
美貌と若さをキープし続けたという話があるそうです。

そんな本の原典が鈴奈庵に紛れ込んでて
小鈴が阿求とドキドキしながらこっそり読んでたら、
とてもチャンスだな…と勝手な妄想してます。

それでは、皆様、よいお年を。

[東方鈴奈庵飛艶魔秘録]

2014年12月30日 発行

原作:東方Project/上海アリス幻楽団/ZUN/春河もえ

発行 : 鋼鉄

発行者 : 佐藤はがね

Pixiv ID : 6086241

twitter : taisa061

印刷 : gr@phic

成人向

18歳未満の方の購入、閲覧は
禁止させていただきます。